地区版第11号

発行日:平成26年2月1日

たちばな会だより

発行者: 社会福祉法人たちばな会

理事長 鈴木松壽 住所:浜松市浜北区於呂514 電話: (053)588-3214

2014年を迎え、"今年もよろしくお願いします"と新年の御挨拶を申し上げたのも束の間、もう1か月が経ち、光の春と呼ぶにふさわしい季節になりました。

日頃より、地域の皆様方には障害者福祉に対し深い御理解と御協力を賜り、お蔭様で、社会福祉法人たちばな会の2つの施設「たちばな授産所」と「サンステップ」も順当に運営されていることに心より感謝申し上げます。

さて、障害のある人たちが自立した生活を送るためには、就労による経済的な基盤を確立することが重要であり、そのためには、障害者雇用を支援するための仕組みを整えると共に、障害者が利用する施設等の仕事を確保することも必要です。このような観点から、『国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進に関する法律(障害者優先調達推進法)』が昨年4月から施行されています。国や地方公共団体等の公的機関が、物品やサービスを調達する際には、障害者就労施設等から優先的に調達し、働く障害者の自立を促進するために制定されたものです。

「たちばな授産所」と「サンステップ」には、これまで浜松市や市の水道局、浜北区内の小学校や高速道路を管理するNEXCO中日本等から管理地の除草作業の注文が入っています。浜北区内の障害者施設と協同で請け負っていて、現在のところ、この除草作業によって得られた収入は、㈱日本ロック様等からの下請け作業から得られる収入に比べればわずかな金額ですが、安定した受注先として、今後もしっかりと取り組んでいきたいと思います。 (山下施設長)

(株)日本ロック様に感謝をこめてタチバナの若木を贈る H26.1.8

(株日本ロック様(会長米田良正様)は、この度浜北区平口にある技術センターを増築されました。日頃たちばな会が運営するたちばな授産所・サンステップの作業や行事に多大なご支援をいただいていることに対し、感謝の意を込めてタチバナの若木を贈らせていただきました。雨模様の日でしたが、米田会長様が植樹の仕上げをされるときには日も差して、天

も祝ってくれているようでした。



行事の紹介 地域の皆様に支えられて

【納涼祭】 (H25.8.9)



恒例の納涼祭を行いまし た。利用者は全員そろいの 法被を着ての手踊りや保護 者会による模擬店を回るな ど、来賓の皆様、地域の皆 様と一緒になって楽しいひ と時を過ごしました。

【総合防災訓練】 (H25, 9, 2)

総合防災訓練では、情報伝達訓 練と避難訓練を行った後、防災教 育用のビデオを視聴しました。ま た、昼食には施設にて備蓄してあ る防災食を試食しました。

【鉄板焼き大会】 (H25.10.5)

㈱日本ロック様より、恒例となっている鉄板焼き大会に「みどりの樹」と共にご招待をいただ きました。今年は新しくできたサンステップの利用者も加わり、「たちばな会」としては総勢で 約120名の参加となりました。利用者も毎年楽しみにしており、満腹・満足の一日を過ごさせ ていただきました。







【慰安旅行】(H25.10.10~10.11)

今年は1泊2日で伊豆方面へ足を延 ばしました。たちばな授産所、サンス テップと合同での実施だったために、 保護者を含めると約110名、バス3 台の旅行でした。動物園やワイナリー、 水族館、土肥金山等を見学し、みなさ んたくさんのお土産を買ってきました。





【一日施設長】 (H25, 12, 9)



浜松市社会福祉協議 会浜北地区センター長 大林幸廣様を一日施設 長としてお迎えし、施 設の紹介・見学を通し てたちばな会への理解 を深めていただきまし

【もちつき大会】 (H25.12.13)

木製の杵と臼によるもちつきは、参 加者の心と体をほんわか温かくしてく れます。